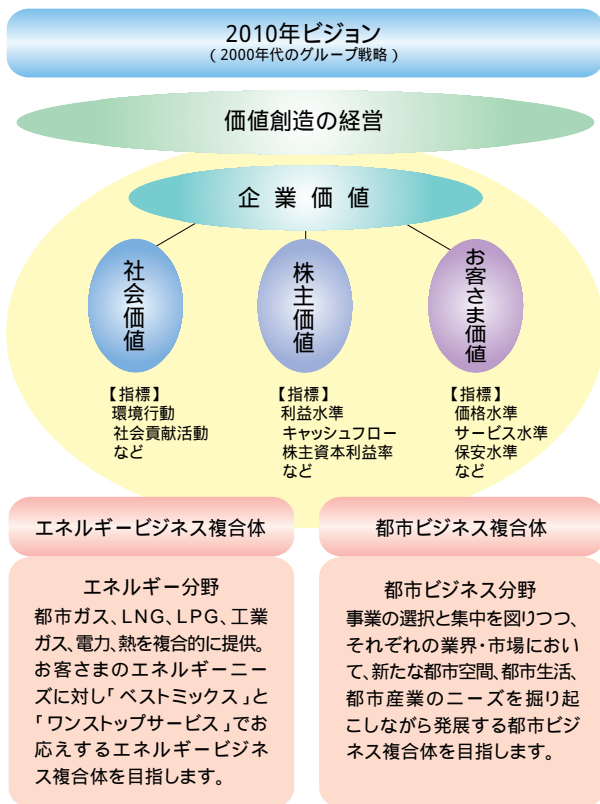


2010年ビジョン

大阪ガスグループの長期経営指針「2010年ビジョン」(1999年10月策定)では、当グループが今まで築いてきた天然ガス基地・パイプラインなどの基盤設備事業多角化による成長過程の企業群(グループ会社)お客さまの信頼という、3つの資産を成長の基礎とし、エネルギー分野と都市ビジネス分野を両輪として、各事業を拡大発展させていきます。そして、グループ各社が、共通の経営基本理念である「価値創造の経営」を行い、「お客さま価値」「株主価値」「社会価値」の3つの価値を向上させていきます。また、本年2月には、その第1ステップとなる大阪ガス中期経営目標(2000年～2002年度)を設定し、その達成に向けて努力していきます。



中期経営目標

【お客さま価値増大目標】

ガス料金水準と料金メニュー

ガス料金の低廉化と料金メニューの充実を図ります。

サービス水準

新しい広域お客さまセンターの設置などによって、お客さま満足度を向上させます。

保安水準

当社基幹設備における重大事故ゼロの継続やお客さま先設備の保安レベルの更なる向上を図ります。

【株主価値増大目標】(2002年度の目標)

	単体	連結
① 経常利益	650億円以上	750億円以上
② 当期純利益	350億円以上	400億円以上
③ 株主資本当期純利益率(ROE)	9.0%以上	
④ 総資産当期純利益率(ROA)	3.5%以上	
⑤ フリーキャッシュフロー	2000年度で黒字化▶以降増大	

連結は25社ベースであり、また目標値は、経営環境の大きな変化がないことを前提とした数値です。

【社会価値増大目標】

環境行動

CO₂排出量削減などの環境行動目標を2001年度までに達成することを目指すとともに、環境会計を導入していきます。

社会貢献

福祉、地域協調、環境保全、国際交流などの分野を中心に貢献します。

情報公開、コンプライアンス(法の遵守)

社内規程の整備、社内啓発活動などを通じて、その内容の充実・強化を図ります。



ご家庭にもガス空調が広がっています



「ハウジングマルチ」の室外機

電子商取引に対応

今後急速に拡大が予想される電子商取引(EC)に対応するため、昨年11月社内に「電子商取引推進委員会」を設置し、ガス機器のマーケティングや購買物流、新規事業などにおけるECの事業性および活用について検討しています。2月にはインターネット上で、ガス機器販売のテストマーケティング(関係会社を通じて実施)を開始しています。



大阪ガスのホームページには、ガスの開閉検受付やガス機器販売、会社概要などさまざまな情報が満載

伸び続けるガス空調

ガスヒートポンプ(GHP)でのガス空調の累積設置容量が、中小ビルや学校、量販店などを中心に、1月末には150万kWを超えました。ガス空調の普及は、夏の電力需要のピークカットにも貢献しています。特に家庭用に開発したガスヒートポンプ「ハウジングマルチ」の販売は、前年比215%と大きな伸びとなっています。

さまざまな用途に広がる ガスコージェネレーションシステム

ガスエンジンなどで電気と熱を作るガスコージェネレーションシステムは、エネルギー効率や環境特性に優れていることから、地域分散型エネルギーシステムとして普及が進んでいます。3月末には、651件のシステム(累積設置容量98万kW)が大型ビルや工場、公衆浴場、飲食店などさまざまなところで活躍しています。平成11年11月には浄水場にも設置され、新たな用途として広がりを見せています。



コージェネレーションの排熱が、浄水プロセスに利用されています

ガスコージェネレーションシステム





お客様のご要望に、 より迅速・的確に対応

現在6カ所あるお客様センターを順次集約し、平成13年1月までに大阪と京都の2カ所に広域お客様センターを設置します。ガス機器や料金などの業務別専門スタッフを集中配置することや最新の情報通信技術の導入により、一層迅速で的確な受付応答を実現し、受付の質を高めます。また、お客様の声を業務改善などに活かす機能も強化し、よりお客様にご満足いただく仕組みづくりに努めていきます。

昨年10月に開所した
大阪お客様センター

着実に進む地震・防災対策

阪神大震災における震災の教訓などを踏まえ、「設備被害予防対策」「緊急時対応策」「復旧対策」の3つの柱から構成した「地震対策5カ年計画」を平成8年1月に策定しました。計画を着実に推進し平成11年度末には当初目標どおり達成することができました。今後も地震・防災対策の強化に努めていきます。



ポリエチレン管曲げテスト

設備被害予防対策

ガス設備における耐震性の一層の向上を目的に取り組んでいます。阪神大震災でも全く被害がなく、高い耐震性が実証されたポリエチレン管を低圧導管の新設・入れ替え時に全数採用し、普及促進に努めています。



毎年実施している実践的な地震訓練

緊急時対応策

早期の情報収集や瞬時のガス供給の停止などにより、二次災害の防止を行います。震度5相当以上の地震を感じると自動的にガスを遮断するマイコンメーターをすべてのご家庭に設置したり、地域ブロックごとにガスを自動遮断するシステムを構築したりしています。

復旧対策

迅速にガスの供給を再開するため、ガス管内に入った水を排出する抽水装置や、ガス管内の損傷を調査する管内カメラなどを平常時から備えています。また、阪神大震災で得た幅広いノウハウをマニュアルに集積するとともに、毎年全社的な訓練を実施しています。



家庭用燃料電池(左)、貯湯槽(右)の設置イメージ

実用化に向けて居住実験を開始した 家庭用燃料電池

次世代のエネルギーシステムとして注目されている家庭用燃料電池(固体高分子型)の開発に取り組んでいます。家庭用燃料電池は、都市ガスから取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させ、電気と熱(お湯)を得るクリーンなシステムです。平成17年度までの商品化を目標に当社の実験集合住宅「NEXT21」において居住実験を開始しました。

グループ全体の企業価値を一層向上

大阪ガスグループは、これまで各グループ事業を通じて、人材やノウハウ、お客さまの信頼などさまざまな有形無形の資産を築いてきました。2010年ビジョンでは、「エネルギー分野」と「都市ビジネス分野」を今後のグループ事業の両輪として位置づけ、これらの資産を基盤に、一層グループ全体の企業価値を向上させていきます。

意外なところで活躍 しています

大阪ガスケミカル(株)

浄水器カートリッジ
独自開発の繊維状活性炭を使用したOGケミカルの浄水器カートリッジは、優れた吸着特性や加工性から国内シェアの約3分の1を占めています。



さまざまなノウハウで健康づくりのお手伝い

(株)オーژیースポーツ

フィットネス・テニスクラブ
「健康生活を総合的・多角的に支援する」ことをコンセプトに運営しているフィットネスクラブやテニスクラブは、現在約3万6千人の会員の方にご利用いただいています。



平成11年4月にオープンしたフィットネスクラブ「コス・バさかい」(大阪府堺市)